

# カブ隊恒例 ミステリーツアー

## 今年はどこさ行くんだっぺか？

2008.01.12



2008 謎の日帰りお土産なしミステリーツアー ♪どこへ行くのか風まかせ♪ 日帰り	
旅行代金	不明 [大人は大人料金・小人は小人料金]
出発日	1月12日(土)
行程	1日目・自宅→牛久駅<8:30>→どこへ行くのか風まかせ→牛久駅<17:00>→自宅
お食事	[1日目] × × × (そなえよつねにとカブ弁持参のこと)

カブ隊恒例の、ミステリーツアー2008です。昨年はカブ弁・軍手・帽子を準備して刈谷自治会館集合の連絡で、ほとんどのスカウトが初体験のスケートのサプライズでしたが、今年は、どこに行くのでしょうか？スカウトとデンリーたちには、もちろん秘密です。実は、雨降りのため、第一目的地が確定しなかったという裏話があったような、ないような。



\*ボーイ隊の愚娘が、付いて行きたいと言うので、写真係として同行したのですが、細かな撮影ポイントを指示しなかったため、一部写真の無いものや手ぶれの写真がありますが、これも愛嬌ということで、なにとぞご勘弁をば。



今回欠席のスカウトたちのイメージ

いやー！だけど、Webマスターの「2008新春クイズ」の七福神には恐れ入りました。HPを開いて腰が抜けそうになったとですよ。この手法は、記者の仕業との噂がありましたが、記者が作ったのは、年賀状の方です。負けました。これを越えるものは作れません。

8:30牛久駅西口集合 我が隊も7人で七福神だぞ。と言いたところですが、おおーっ！2人足んねーぞ！まあ！良いか！



いつものように、隊長が「これから電車に乗ります。東京の方に行きたいですか？水戸の方に行きたいですか？」聞きます。でも、スカウトたちは皆「東京！」と答えます。個人的には、通勤経路なので、たまには水戸方面が希望なんです。



8:56上り電車に乗車です。「オー・シャンゼリゼ」の発車メロディーに見送られ出発です。座れなかったため、取手で乗り換えました。





車中では、おとなしくしています。関心・関心。口封じのアメ玉をなめさせています。これが効くんだなー。  
 左の写真は、我が隊の「鉄ちゃん」です。  
 \*「鉄ちゃん」とは、鉄道マニアの愛称です。  
 それにしても、いろいろ良く知っていますねー。  
 上野駅到着「ボートとしてると、はぐれっかん！」こままでの移動距離牛久〜上野 52.8km、山手線に乗り換えます。田端駅に向かいます。



田端駅到着。スカウトたちは、まだ、どこに行くか知りません。

# 第1のミステリー！雨でも行くぞな！ これより、初詣だ！谷中七福神スタンプラリー



●七福神めぐり 起源とその醍醐味七福神めぐりの起源は、江戸時代初期、徳川幕府が「人心を鎮める行政の方策」として、江戸市中に七福神を祀る神社・寺院を建てたことから始まったといわれて、やがて、それら神社・寺院を正月に参拝すると『七難即滅・七福即生』のご利益——七つの災難が消滅し、七つの福德を授かる——を享受できると、庶民の間でささやかれるようになり、その後、この信仰が江戸から全国各地へと広がっていったと伝えられています。現在では全国で100カ所以上の七福神めぐりが存在し、今でも多くの人に親しまれているそうです。なるほど！各お寺スタンプがあるのでそれを集めます。

## 福祿寿(ふくろくじゅ) 健康長寿 子孫繁栄

北区・東覚寺(とうかくじ) 田端駅から0.5km

蓄えられた白いヒゲ、毛髪が無く長い頭、低い身長と、七福神のなかでも独特な風貌の神様です。そのルーツは名前の通り、福(子孫繁栄)、禄(財産)、寿(健康長寿)の3つの徳を示しています。また、そのような「3つの徳が揃ってこそ人は幸せである」と考える古代中国の道教から生み出された福の神だと伝えられています。子孫繁栄すなわち、スカウトが増えますように。

しまった！これよりしばらく写真がありません。知人の写真を借用して作成します。



本堂は左奥にあります。



約1.0 km

## 恵比寿(えびすさま) 商売繁盛

荒川区・青雲寺(せいうんじ)



ポッチャリとした体格に温厚で豊かな微笑み…そうです、誰からも愛されている、「えびす顔」の神様です。古くから商売繁盛の神様として親しまれてきたことはあまりに有名で、その手にした釣竿は「釣りして網せず」の精神、つまり「暴利を貪らない清栄なる心」を反映しています。ルーツは伊弉諾尊(いざなぎのみこと)の第三子で天照大神の兄弟だといわれています。釣り好きの育成会副会長は恵比寿さまなのかな？

約0.2 km



借用

m(UvU)m



## 布袋尊(ほていそん) 防災・生産

荒川区・修性院(しゅうせいいん)

恵比寿神や大黒天と同様、福耳とにこやかな顔を持ち、ポツチャリとお腹が突き出た神様です。ルーツは、布袋様の朗らかで平和な姿から、弥勒菩薩の化身と信じられ、崇拝され始めたようです。また、唐の時代の高名な中国禅僧・契此(かいし)がそのモデルになったともいわれ、七福神のなかで唯一、実在のモデルが存在している神様でもあります。その実際のモデルは、たぶんY副長でしょう。

約08 km



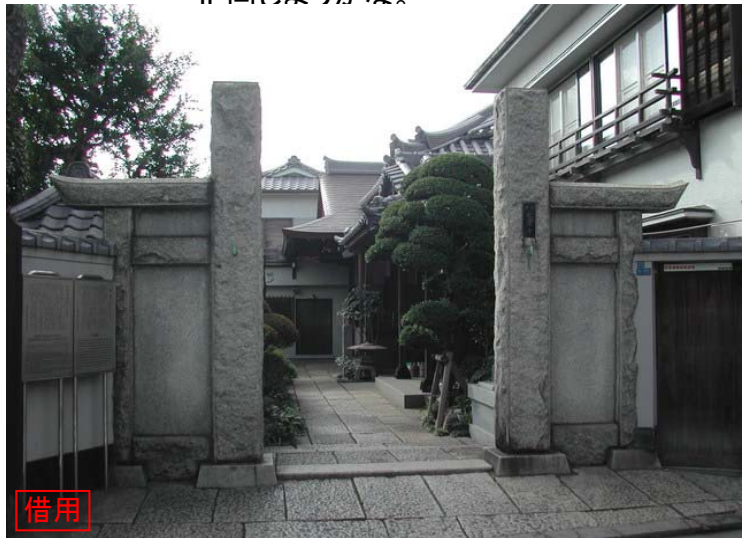
借用

## 毘沙門天(びしゃもんてん) 除災勝運

荒川区・天王寺(てんのうじ)

財福富貴・除災勝運の神として知られる毘沙門天。そのルーツである古来インドでは、意外なことに、悪神として知られていたそうです。その後はヒンズー教の「財宝を守る神」として、善の神となったといわれています。手に持つ多宝塔(たほうとう)は「より限らない財宝を授与する」ことを示していると伝えられています。今度は、宝探しツアーを企画しようかな。

約0.5 km



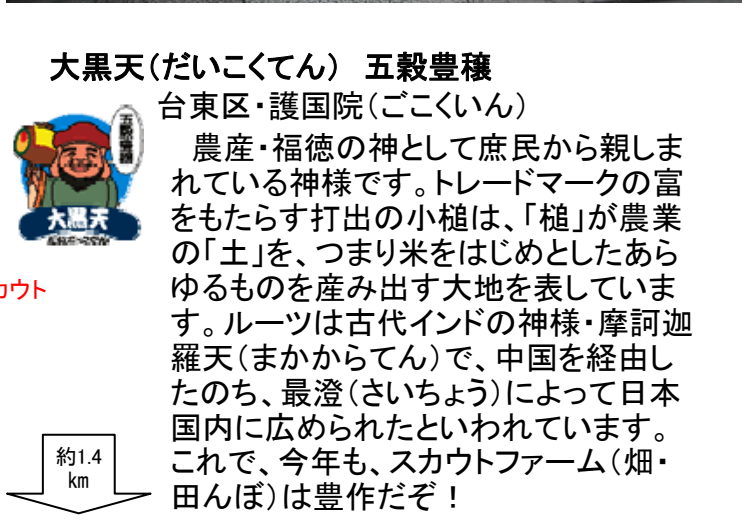
借用

## 寿老人(じゅろうじん) 健康長寿

荒川区・長安寺(ちょうあんじ)

白いヒゲと長い頭がトレードマークの神様です。名前に「寿」とあるように、長寿の神様としてよく知られています。また、導きの神、幸運の神として「運命を開拓してくださる福德長寿の守護神」としても広く親しまれています。ルーツについては、福祿寿と同一神であるという説もあるようです。

約0.8 km



約1.4 km

## 大黒天(だいこくてん) 五穀豊穡

台東区・護国院(ごこくいん)

農産・福德の神として庶民から親しまれている神様です。トレードマークの富をもたらす打出の小槌は、「槌」が農業の「土」を、つまり米をはじめとしたあらゆるものを産み出す大地を表しています。ルーツは古代インドの神様・摩訶迦羅天(まかからてん)で、中国を経由したのち、最澄(さいちょう)によって日本国内に広められたといわれています。これで、今年も、スカウトファーム(畑・田んぼ)は豊作だぞ！

約1.4 km



屋根から落ちる雨で修行中のスカウト

借用



# 弁財天(べんざいてん) 学業成就

台東区・弁天堂



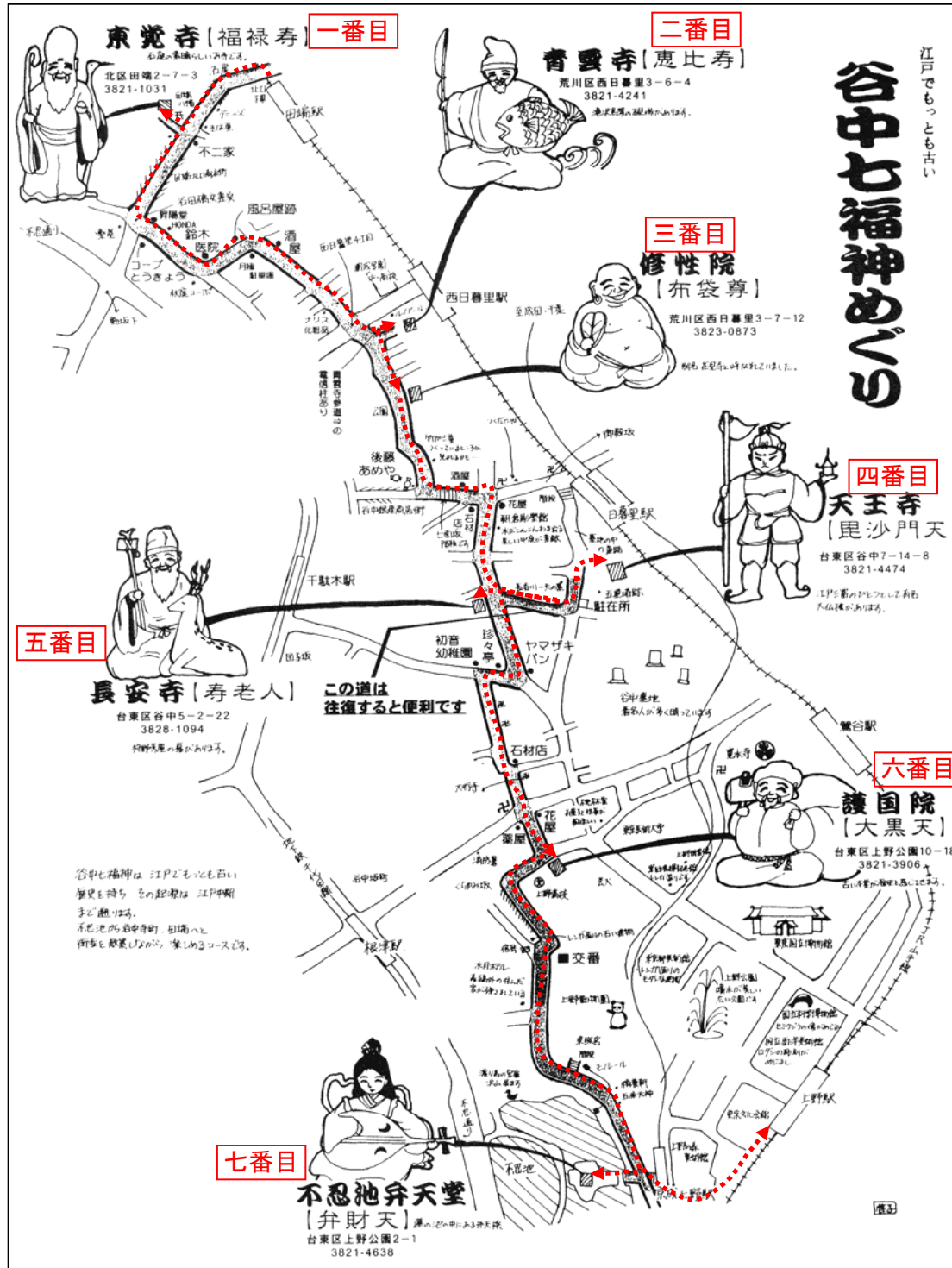
七福神のなかで紅一点の弁財天。雄「弁」の「才」をつかさどる神様なので弁財と言われ、音楽・学問の神として受験生などから親しまれています。ルーツである古代インドでは、豊穡の神として、もっとも崇拝されていました。また、仏教に伝来した時期も、ほかの神様と比べて早く、土着の神と結合して広く信仰されるようになったと伝えられています。これで、学校の勉強も大丈夫なはず？たぶんね！  
うちの紅一点の弁天スカウトはお休みかな。

約0.6 km  
上野駅へ



借用

## 今回のコース(全長約6km・所要時間約3時間)



### 不忍池の鳥たち



オナガガモ



スズガモ



キンクロハジロ



スズメ



ユリカモメ





本来は、御朱印を戴く色紙を求め(多色刷り木版画で1枚千円)、御朱印を押して(1箇所二百円)いただくそうです。総額2,400円なり！今回は、各お寺に置いてあるスタンプを押しました。日本橋七福神めぐりもあったのですが、スタンプがないので谷中コースとなりました。なにか目的があった方が達成感が増します。



### 手作りのスタンプ帳

<p>三番目・修性院【布袋尊】 御利益: 清い心なさい心を授ける</p>	<p>二番目・青雲寺【恵比寿】 御利益: 笑顔笑顔の神</p>	<p>一番目・東覚寺【福祿寿】 御利益: 人望を授ける</p>	<p>谷中七福神巡り</p> <p>ボーイスカウト牛久第4団 カズ隊 2008. 01. 12</p>
<p>七番目・生池院弁天堂【弁才天】 御利益: 音楽・芸術の道を助ける</p>	<p>六番目・廣国院【大黒天】 御利益: 富・財宝を授ける</p>	<p>五番目・長安寺【寿老人】 御利益: 延命長寿の神</p>	<p>四番目・天王寺【思沙門天】 御利益: 勇気を授ける</p>

## スタンプとはいえ、ご利益がありそうですね。

これより、上野駅で、仕事の終わった布袋さま、いやY副長と合流です。東京メトロ(地下鉄)で、第2のミステリー箇所へ移動です。腹減ったー！現在、午後1時。雨のため、場所がなく、まだ、昼飯を食べていませーん！



第2のミステリー箇所(京橋)に到着です。そこは、ピーポくんがお出迎えの警察博物館なのだ！警視庁の歴史と活動に関する資料を多数展示しているぞー。入場は無料です。この無料という言葉に弱いんですね。自販機コーナーで遅めのカブ弁です。今日は良く歩いたので、うまいのなんの！モグ、モグ。



1F「おまわりさん なりきり体験」ができるふれあいホール。展示してあるヘリコプターやオートバイに乗って記念撮影ができます。  
 2F 警視庁誕生からの歴史的に重要な資料を展示しています。  
 3F 殉職警察官の功績を讃える「顕彰コーナー」のほか、警察官の制服や武器・凶器の展示があります。  
 4F 音楽隊や鑑識のコーナーなどのほか、コンピュータを使ったモンタージュゲームやクイズなどが楽しめます。



受付にいたおじさんが、高飛車・横柄で  
 すごく気分が悪かったです。どこかの元署  
 長とかなんでしょうか？





やんちゃなだった、若かりしころの血が騒ぐ隊長(左側)と、久しぶりに写真に写った記者(右側M副長)



だめ押しで、東京駅まで歩きます。



東京駅地下街に潜ります。蟻の巣みたいで、どこを歩いているのかみんな分かりません。でもここは、記者のテリトリーなのです。ご安心をば。



歩き疲れて、騒ぎ疲れて電車で寝ていまいと思ったんですが、みんな車内は寝ないで帰ってきました。寝ちまったら、牛久で起こさないで、このまま本当のミステリーツアーに行ってもらおうかと思っていたのですが残念！。隊長：「みんな、楽しかったですかー」「ハイ」そりゃ、良かった、良かった！



仲良しの輪で解散です。今回は、雨が降って大変でしたが、事故・脱落者もなく無事終了です。リーダーのみなさまもおつかれさまでした。

～ これらのページの手ぶれ写真(一部知人より借用は除く)は、特別参加のボーイ隊N隊員によるものです。～  
～ これらのページの文は、いつもの通勤気分で参加の大黒さま、いや、カブ隊M副長によるものです。～  
明日は、ボーイ隊の「雑煮の会」と、ビーバー隊の「夕日を見る会」に参加なのだ。あー忙しい！ 忙しい！